## 演習ガイド

コンピュータ・サイエンス入門 クラス:4a 担当:渡辺

2016.1.7

#### 本日の予定

- 1. レポート課題の復習
- 2. 標準的な実験の試行
- 3. スクリプト入門(ごく入口)



西8号館E棟 エントランスホール 先の左手のポスト 「渡辺治」のポスト

1. レポート課題の復習

〆切:1月28日午後4時までに - 渡辺の郵便ポストへ

提出物と採点基準(満点 20)

- 1. 森林火災モデルの説明 (5)
- 2. 実験の内容と実験方法 (10)
- 3. 実験結果の解析 (5)

以下はオプショナル(加点 ≦ 5)

4. 自分なりの実験

## 2. 標準的な実験テーマ

コンピュータ・サイエンス入門 クラス:4a 担当:渡辺 2016.1.7

シミュレーション実験の基本は 様々なパラメータの関係を調べること

#### 実験のテーマ例

- 類焼率と焼失率の関係
- 臨界類焼率の測定
- 臨界類焼率と木の燃焼時間の関係 ← これがお勧め

#### 用語解説

類焼率 p = 隣の木に燃え移る確率 木の燃焼時間 b = 木が燃え出してから燃え尽きるまでの時間(分) 焼失率 q = 森林火災が鎮火した時点で燃えた木の比率(%)

<u>臨界類焼率</u>  $p_0$  = 森が全焼する可能性が急速に高くなる類焼率

コンピュータ・サイエンス入門

クラス:4a 担当:渡辺

2016.1.7

(1) 各種パラメータを適宜定める:

$$n = 50$$
  $b = t =$ 

生存率

(2) いろいろな類焼率に対して、各 10 回くらい実験し、<del>焼失率</del>がどうなるかを調べ、全焼となる割合を出す.

類焼率 p			
試行 1			
試行 2			
試行 3			
試行 4			
試行 5			
試行 6			
試行 7			
試行 8			
試行 9			
試行 10			
全焼率			

### 3. スクリプト入門

木の燃焼時間bと臨界類焼率 $p_0$ の関係を調べよ!

コンピュータ・サイエンス入門 クラス:4a 担当:渡辺

(そな, かなわんわ

2016.1.7

実験のスクリプト(台本):概要

```
#実験の設定:固定パラメータ
n = 50, nt = (2*n+1)**2, limit = nt * 0.001 # 全焼の基準(0.1%)
#実験用パラメータ
ex = 30, b = 5, p = 10, time = 100, seed = 1
#実験
 bcount = 0
 for i in (1..ex)
   ./fire.exe n p b time seed を実行し答えを得る
   t ← 時間, nb ← 燃焼木の本数, nu ← 生存木の本数
   if nu <= limit
    bcount = bcount + 1
   end
   画面に今回の結果を表示
   seed = seed + 1, i = i + 1
 end
 R = bcount / ex # 割合を求める
 画面に p と全焼率 R を表示
```

2016.1.7

```
#実験の設定:固定パラメータ
n = 50; nt = (2*n+1)**2; limit = nt * 0.001 # 全焼の基準 (0.1%)
#実験用パラメータ
ex = 30; b = 5; p = 10; time = 100; seed = 1
#実験
  bcount = 0
  for i in (1..ex)
   result = \(\text{./fire.exe #{n} #{p} #{b} #{time} #{seed}\)
    r1, r2, r3 = result.chomp.split(/\frac{1}{2}s*,\frac{1}{2}s*)
    t = r1.to i
   nb = r2.to i
   nu = r3.to i
    if nu <= limit
      bcount = bcount + 1
    end
    print(t, ", ", nu, ": ", bcount, "\u00e4n")
    seed = seed + 1; i = i + 1
  end
  R = bcount.to_f / ex.to_f
  print(p, ", ", R, "\u00e4n")
```



# Terminal 上のコマンド

コンピュータ・サイエンス入門 クラス:4a 担当:渡辺

2016.1.7

命令	使用例	意味	
mkdir	mkdir kadai2	kadai2 というフォルダ(部屋)を作る	
cd	cd kadai2	kadai2 というお部屋に入る	
	cd <b></b>	上の(大きな)部屋に戻る	
	cd <b>/.</b> .	上の上の部屋に戻る	
ls	ls	その部屋にあるファイルを表示する	
rm	rm foo.rb	foo.rb を消す(戻らないので注意)	
cat	cat foo.txt	foo.txt の中身を画面に表示すうr	
機械語実行	./OO.exe	機械語プログラムを実行する	